

## ご挨拶

「障害児基礎教育研究会（通称 水口研）」は、創始者である故水口俊（みずぐちふかし）が、障害児教育のあり方を明らかにすることを目的に平成元年に設立したものです。

①特別支援教育に携わる教師及び作業療法士などの周辺職種や保護者等、障害のある子どもにかかわる多彩な人々が参加しています。

②「見る、見たものに手を伸ばす」など、初期の運動操作から概念形成・記号操作に至るまでの過程を独自の教材教具を開発し、教育実践に基づいて解明しようとしています。

③子どもと支援者である大人が、ともに学び合う存在として、人間関係を深めていくことを大切にしています。

これらを特色として、月1回定例の研究協議会を行っています。この会には、会員にかかわらず、どなたでも無料で参加できます。

平成19年、水口俊は志半ばに逝去しましたが、その心は会員が受け継ぎ、それぞれの実践の場で、研究を深めています。教材教具を作ってみたい方、研究協議会に参加したい方は、いつでも下記にご相談ください。

障害児基礎教育研究会 代表 吉瀬正則

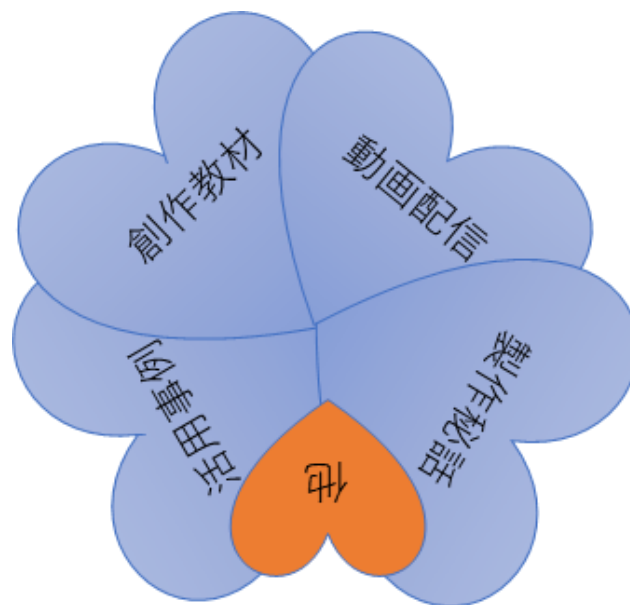
### <幹事>

- |                 |       |
|-----------------|-------|
| ・東京福祉大学・大学院     | 立松 英子 |
| ・筑波大学附属大塚特別支援学校 | 根本 文雄 |
| ・筑波大学附属大塚特別支援学校 | 加部 清子 |
| ・筑波大学附属大塚特別支援学校 | 飯島 徹  |
| ・東京都立中野特別支援学校   | 長沼 潤子 |
| ・東京都立鹿本学園       | 金子記美恵 |
| ・沖縄県立宮古特別支援学校   | 比嘉 展寿 |

☆URL : <https://kisoedu.jp>

## □会場

障害児基礎教育研究会WEB会場  
及びyoutube動画配信



会員以外の方の参加申込みはこちら！



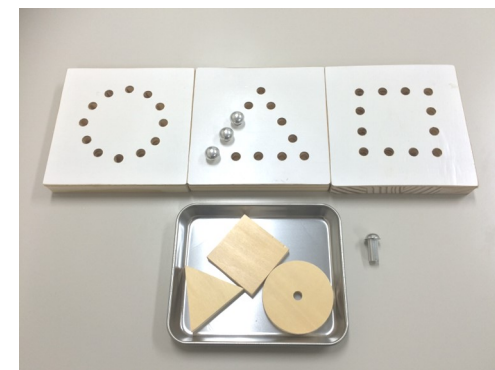
参加費2000円（学生1000円）  
（会員は無料）

三井住友銀行高幡不動支店（店番号261）  
普通口座 1327611 障害児基礎教育研究会

第28回 障害児基礎教育研究会

# 教材 工夫 展

一人ひとりの子どもに学ぶ  
「触ってわかる」学習の基礎



後援 全国特別支援教育推進連盟



## 第28回教材工夫展について

第28回教材工夫展も、昨年同様WEB上で開催する運びとなり、幹事一同、さらに充実した内容をお願い、鋭意準備中です。

定例会は現在もオンラインで実施していますが、遠く沖縄や熊本、福島、鳥取、名古屋などから参加する会員の嬉しそうなお顔が拝見できて、こちら元気をいただいています。ZOOMで各自が創作した教材の自慢大会を企画したところ、互いの距離を感じない親しさで、生き生きと情報交換することができました。児童発達支援や放課後等デイサービスなど、福祉分野からも新しく会員を迎え、思いのほか研究会は賑わっております。

物の操作を通じて「わかる」ことの喜びが子どもの毎日を支えていることを、私どもは実感しています。また、本研究会で工夫した教材教具に惹きつけられ自然に取り組む我が子の様子を見て、保護者の方々も手と目を使って学ぶことの重要性を感じています。自然界の物には全て色や形、位置、順序、方向があります。本研究会で考える「教育の基礎」は、これらの「触れる、動かす」学びに人がかかわり、達成感を共にすることにあります。「教材工夫展」を通じて、年齢や障害の程度を問わない学びの喜びについて、多くの方と分かち合うことができたら幸いです。

(研究会幹事：東京福祉大学 立松英子)



## 第28回 障害児基礎教育研究会

### 教材工夫展



□日 時 2022年8月20日(土)  
～ 9月25日(日)

□場 所 WEB会場並びにyoutube動画配信  
会員及び参加登録された方には、  
URLの入ったご招待状をお送りします。

□テーマ 一人ひとりの子どもに学ぶ  
『触ってわかる』学習の基礎

□概要 研究活動やこれまでの成果を動画でご紹介します。  
期間中はいつでも閲覧可能です。

- 代表挨拶 吉瀬正則(元明治学院大学特命教授)
- 教材紹介 動画配信・研究紀要
- 活用事例 動画配信・研究紀要
- 実践報告 リアルタイム配信・研究紀要「僕、型はめ、棒さし、玉入れが大好き!!-もう1回やりたいという気持ちを大事に-」  
筑波大学附属大塚特別支援学校 飯島 徹
- 講 演 リアルタイム・動画配信・研究紀要  
「一人ひとりの子どもに学ぶ『触ってわかる』学習の基礎」 東京福祉大学 立松英子

□研究紀要 1冊1000円。会員及び参加登録された方には  
第29集 印刷版を無料で配布いたします。

□参加費 2000円(会員は必要ありません)  
裏面のQRコード若しくはホームページから、  
参加登録及び参加費支払方法をご確認ください  
(締切：8月31日)



## 教材教具とは

- 1 手の操作を通じた、共通の言葉となる道具である。
- 2 大人の側からいえば、具体的で、予測のつく、発信と受信の道具である。子どもの側からいえば、わかりやすい受信に基づき学習の結果を発信する自己実現の道具である。
- 3 人間関係の成立のきっかけとなり、達成感を体得し、自己の可能性を発見し、そのよろこびを共感し、相互の信頼関係を深めていくふれあいの道具である。(水口 俊)

2005年7月 「教材教具とは」より要約、抜粋  
(ホームページ「創始者紹介」に全文を掲載)



マッサージからコミュニケーションを始める  
研究会創始者 故水口 俊

